

2026年01月

第101回

会社設立物語(01)

正月といえは子供の頃は心躍ったものだが、独立して会社を設立してからは慌しい限りである。12月末にようやく年末調整が終わったと思ったら、1月20日は納期特例源泉所得税の納付期限、1月31日は①法定調書及び法定調書合計表、②給与支払報告書、③償却資産税申告書の提出期限である。なんてタイトな日程なのだろう。どおりで税理士がうるさく資料請求してくるわけだ。税理士に頼まないで自分一人で対応するとしたら厳しかった。

サラリーマンの時はある意味楽だった。会社の看板で仕事が取れた。リスクは会社が負、てくれた。仕事の上でヒト・モノ・カネ・情報に苦勞する事は無かった。色々な種類の仕事を経験させてくれた。取引先に出向させてくれた。海外語学研修に行かせてくれた。そして、税務、社会保険、労働保険の手続きはすべて会社がやってくれた。

この会社を勤め上げる事ができないか十分考えた。しかし、独立に踏み切った。

江幡 淳